

菊地 時子 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナの感染爆発を抑えるため、感染者の把握や保護のためのPCR検査がどこでも実施されるべき。県内でも検査拡充と費用助成を実施する自治体があるが、本市の考えは。

感染が疑われる方への検査費用は、基本的に公費負担となっている。無症状者へのPCR検査について、能代市山本郡医師会からは、定期的な検査が必要であり、効果は薄いとの見があったほか、能代山本地区において、無症状者へのPCR検査を実施するとしている機関はないことから、無症状者に対するPCR検査の費用助成等は考えていない。

家族介護用品支給事業を見直す考えは

国からおむつなどの介護用品支給事業について廃止、縮小に向けた検討を求められているが、誰もが必要とする場合は給付される制度になるよう、医療や介護の総合的な立場で検討すべきでないか。

本事業は、介護保険の交付金を活用しているが、国から廃止・縮小に向けた検討を進めるよう示されている。また、来年度以降、本交付金に定められている上限に達する見込みであることから、交付金の活用は難しく、これまで通りの助成とすることも難しいと考えるが、低所得者や、排尿・排便に介助が必要な方に対しては、必要な事業と考えている。

その他の質問事項

○街路樹の落ち葉を清掃する市民の負担軽減

渡辺 優子 平政・公明党

新婚さん応援事業

結婚に伴う新居への引っ越し費用や家賃などを国と自治体で30万円補助する結婚新生活支援事業。国は来年度、上限を60万円にする。経済的理由で結婚に踏み出せない若者のため、導入すべきでないか。

市では、結婚に関連する支援として、出会い創出イベントを実施する団体等への補助、あきた結婚支援センター会員登録料の助成、関連する情報発信のほか、昨年度は結婚祝い金制度を設け、1組当たり5万円を交付している。市としては、各種アンケート調査結果等から、まずは結婚に至る前の出会い支援等に力を入れていきたいと考えている。

市民でホストタウン・ヨルダン国歌を

能代市は東京五輪・パラリンピックに向け、ヨルダンのホストタウンとなり、開催後も交流を続ける。「ヨルダンの日」を制定し、市民全員でヨルダン国歌を覚え、最高のおもてなしをしてはどうか。

ヨルダンの日の制定については、駐日ヨルダン大使の意向もあり、協定締結日の12月19日を記念日とすることを念頭に、今後大使館とも協議しながら検討していく。ヨルダンの国歌を覚え、歌えることは、最高のおもてなしの一つであるため、まずは市民がヨルダン国歌に触れる機会をつくり、親しみを感じられる取組を進めたい。

その他の質問事項

○带状疱疹予防接種助成事業の拡充  
○デジタル活用支援員の制度化

島 貞一郎 改革ネットワーク(青の会、市民の声、シリウス、大河の会、日本共産党)

北高跡地を民間事業者に開放する考えは

北高跡地は、中心市街地の中でも、利便性の高い場所である。イオン出店が間近に迫り、中心市街地の活性化を行うため、民間事業者に開放し、知恵を出していただくことは考えられないか。

北高跡地は、能代駅前位置する利便性の高い公共用地であり、その利活用については、中心市街地の活性化にも関わる重要なものであると認識している。今後、利活用の具体化を進めていく中で、効果的な民間活力の導入等も含め、検討していく必要があると考えている。

エネルギーのまちは何を目指しているのか

エネルギーのまちは、どのようなまちになるかと考えているのか。市民はどのような利益を受けることができるのか。

次世代エネルギー導入により、地域経済と産業の活性化、エネルギー確保による安心な生活、様々な取組が生まれる先進地を目指している。市民への恩恵として、風力発電設備の建設・メンテナンス、港湾整備等に係る経済波及効果と雇用の創出、非常時の電源確保、早期の水素社会の実現、市民ファンドの導入による市民への還元等が期待できる。

その他の質問事項

○北高跡地の現在の検討状況  
○地球温暖化等に市が担う役割は